



ネコスタッフ・やんばるバックパッキングツアー下見  
2008年12月25日~27日(2泊3日)

2日目夕方、太平洋側の道路へたどり着き、自分達の足で本島を横断した瞬間

## バックパッキング、山を越えた3日間。

この年末、ネコスタッフだけの冒険に出かけた。3月末にあるプログラムの下見も兼ねて、3日間かけてやんばるを縦断するバックパッキングだ。これは、着替え、テント、寝袋、鍋、食材、そして大切な水、持ち物すべてを背中に背負い、山道を自分の足だけを頼りに歩いて移動するもの。荷物の重さは子ども2人分ほどにもなる。立ち上がるのも大変だ。

挑戦したのは男女5名のスタッフ。初めの30分でへばり始めた肩と足にムチを打ちながら、西海岸からいくつもの山を越え、ダムを越え、東海岸、太平洋へと縦断した。途中で蜂に襲われたり、食料がなくなったり、ハプニングも続出した3日間、やんばるを1周して出発地へ戻ったときには、肩も、足も、背中也ボロボロ…。でも、やり遂げてしまった自分への驚きと達成感で、歌ったり踊ったりの大騒ぎでした。



- 1日目◎24 km(9時間)  
ゆいゆい国頭→辺野喜ダム
  - 2日目◎14 km(8時間)  
辺野喜ダム→赤崎
  - 3日目◎28 km(13時間)  
赤崎→ゆいゆい国頭
- 【全行程66 km】



# 山道はハプニング盛りだくさん!



[Text by ゆうー]

## スタッフの感想 @ たいきー

種村太樹 (琉球大学工学部3年)

やんばるの山をデッカいザックを持って3日間、60キロもの距離を歩く。意外といけるもんやっつてんなあ、つて。楽チンだったというわけではない。確かにしんどい。初めて感じるしんどさのタイプ。でも意外といける。大丈夫。楽しい。笑顔の3日間。最後の日も思っていたようなぐったりな感じではなく、しゃべりながら歌いながらしりとりしながら。走って競走したりしながら。途中には、スズメバチ!事件やら、米忘れてもた!事件やら、イルカダ大量収穫やらやら。おはあにミカンもらったり、シークワサーの木見つけてみんなで絞ってシークワサージュースにしたり。他にも色々イベントハプニング盛り沢山!

緑に囲まれ3日間沖縄の冬の自然を満喫。それに何より完走した後のやりきった感は物凄く!やんばる横断!やんばる縦断!?とにかく歩ききったんや!一歩一歩、少しずつ、歩を進めて歩ききったこの両足で!やんばるを歩ききった人はそうはいないはず。やろうと思えば何でもできる!やりきろうと思えばやりきれる!

これでまた一つ強くなった気がする。

## スタッフの感想 @ めぐねえ

神野恵美 (琉球大学教育学部3年)

バックバックツアー!歩くことが好きな私にとって、山歩きは長距離散歩な気でした。でも、日にちが近づくごとにびり出している。出来るのか、歩けるのか。不安でなんだかどうしていいかわからなかった。朝、いい日!天気も最高れて、ふらりふらり。大丈夫かなって心配を裏腹にしゃべったり、歌を歌ったりして気分を巡らす。山の中には、メンパーと自然だけ。自然はいろんなものを伝えてくれた。

一面に広がるススキ畑、鳥の声、いろんな色の木の実。時間係を担当して、地図とにらめっこ!ここまで、あそこまで、どんどん地図上を制覇していつか。暗くなるころについたダム!いつも家に帰ってベッドの上にパタンキューするだけだと思たら体が動く。ドスンと座ってはいられない。山あるきも一緒。立ちどまってたら帰ることもできない。だからひたすら前に進む。落ち葉の上を歩いてみたり、どんぐり食べてみたり、イルカダとったり、ただ歩くだけじゃなくて、自然と戯れての山あるき。夜中のしりとりも、あとひとおしのつらさを吹っ飛ばしてくれた。一人じゃ到底できないことをみんながいたからこそやりきれた!

冬のバックバックツアー!ただ勢いで終わるんじゃないで、一歩一歩噛み締めることができた日々。あのなんにもない上の道からみた、山々の景色と落ちてきそうな星空と、もうもちたくないでっかい荷物。やれないね。って考えるんじゃないかな。どうしたらやれるかを見つけていくことが大切だな。そっくり今の自分に投げかかり、ひびく。